

KHJ町田家族会●第105回月例会

本人と家族の「自律」に向けた、日常のかかわりについて

～講演と対話・相談会～

講師 上田 理香

((一社)SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワーク代表理事・KHJ全国ひきこもり家族会連合会 広報アドバイザー・NPO法人 楽の会リーラ理事・公認心理師)

今年1月、厚生労働省は『ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤』を公開しました。そこでは、「ひきこもり支援では、本人及びその家族自身の意思で今後の生き方や社会との関わり方などを決める「自律」を目指す」としています。これからのわたしたちのより良い生き方をどう見つけるか、考えてみましょう。会の後半は講師を囲んでみなさんで対話や相談の時間とします。ご家族もご本人も、どうぞお気軽にご参加ください。

【日 時】2025年7月26日(土)14:00～16:30

【会 場】町田市民フォーラム4階 第2学習室
(サウスフロントタワー町田4階)

【定 員】48名

【お申込】メールか電話でお申し込みください。

○ info@khj-machida.org

○ 090-4072-1642 (9:00～18:00 上野)

【参加費】 会員 500 円/一家族

一般 1,000 円/一家族

ひきこもり当事者・経験者は無料



【講師プロフィール】

上田理香(うへだ りか) 公認心理師。KHJ全国ひきこもり家族会連合会広報アドバイザー。20代の頃、断続的な親子二重の社会的ひきこもりを経験。2012年より、KHJにて全国の家族会立ち上げ支援、ピアサポーター事業、対話交流会などを企画運営実施。KHJ ジャーナル『たびだち』副編集長(91号～109号)。NPO法人楽の会リーラ理事として、都内32か所の地域家族会にて本人家族への相談、親の学習会などを担当。市民向けの講演会や家族教室での講演多数。2019年より、東京都ひきこもりに係る支援協議会委員。家族や本人の居場所の必要性、全世代でのひきこもり、生きづらさへの理解促進に努める。家族向けパンフレット「ひきこもり笑顔への一歩」(東京都発行)責任編集。共著に「ひきこもり大学」(潮出版社)。一般社団法人SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワークを立ち上げ(代表理事)、情報誌「ひきこもり・生きづらさ 社会課題を考えるSHIP!」を2025年4月創刊。

【町田家族会 イベントの予定 <7月>】

◆親のもうひとつの居場所「やわらぎ」

7月11日(金) 14:00～ 町田市民フォーラム 3階 和室

◆本人のための「居場所 IN まちだ」

7月19日(土) 14:00～ 町田市民フォーラム 3階 和室